

令和7年度 全国学力・学習状況調査結果について

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室

文部科学省が毎年度行っている全国学力・学習状況調査について、東大阪市立小中学校・義務教育学校の結果をお伝えします。(調査目的等の概要はP10に記載)

◆今年度の結果概要

<教科>

小学6年生/義務教育学校6年生(国語・算数・理科)、中学3年生/義務教育学校9年生(国語・数学・理科【CBT】)を対象に調査が行われました。本市では、いずれの教科も全国平均正答率にはとどきませんでしたが(表①)、小中・義務教育学校の国語については、平均正答率の対全国比において、昨年度からわずかに差が縮まりました。

また、すべての教科において、目的意識・課題意識をもって、さまざまな情報(図や表等)から必要な情報を読み取ったり考察したりする力、各教科で身に付けた知識・技能を活用して文章等によって自身の考えを表現する力に課題が見られました。

表①<平均正答率> ※()内の値は平均正答数

教科		平均正答率(平均正答数/問題数)	
		東大阪市	全国
小学校	国語・6年	63% (8.8/14)	66.8% (9.4/14)
	算数・6年	53% (8.4/16)	58.0% (9.3/16)
	理科・6年	51% (8.7/17)	57.1% (9.7/17)
中学校	国語・3年	50% (7.0/14)	54.3% (7.6/14)
	数学・3年	41% (6.2/15)	48.3% (7.2/15)
	理科・3年	平均正答率なし (2.6/6)	平均正答率なし (2.9/6)

※CBT方式による調査は、生徒によって異なる問題となっており、教科全体の平均正答率の発表はありません。

<児童生徒質問調査>(全77問)

小中・義務教育学校ともに、「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」と肯定的に回答した割合は、昨年度より増加しました。また、「先生は、自分の良いところを認めてくれている」と肯定的に回答している割合も全国平均と比べて高く、増加傾向です。

また、「自分で学び方を考え、工夫することができている」と肯定的に回答した割合は小中・義務教育学校ともに高く、中学校では、全国平均と比べて高くなっています。さらに、授業以外でICT機器(PC・タブレット等)を勉強のために1時間以上使用している割合も全国平均に比べて高く、学校外での活用が進んでいると考えられます。

一方、「家庭学習の時間」において「普段全くしない」割合が全国平均と比べて高く、増加傾向であり、子どもたちの家庭での時間の使い方に課題がみられます。

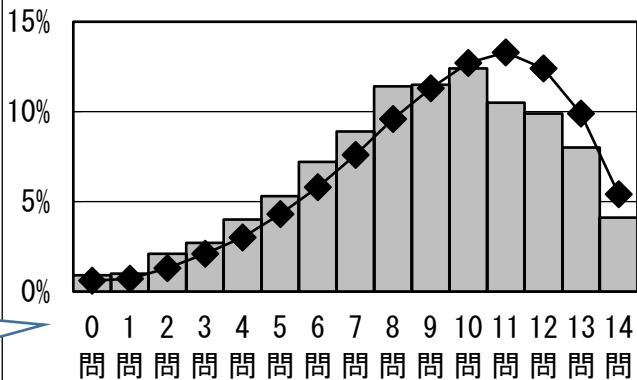
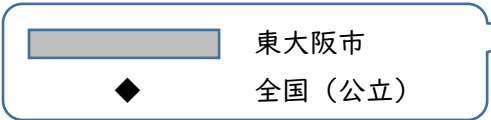
<今後の取組み>

育成すべき資質・能力を明確化し、単元全体での到達を見据えた授業デザインを推進します。また、「個別」「協働」「全体」の学習形態を効果的に組み合わせ、子ども一人ひとりが主体的に学びを調整できる環境を整えていきます。さらに、1人1台端末やクラウド環境、AIドリル(Qubena)を活用し、多様な学び方や学びの深化を支えていきます。

これにより、誰一人取り残されず、子どもたちの多様な個性を最大限生かす「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図ってまいります。

小学校国語

	平均正答数	平均正答率(%)
東大阪市	8.8/14	63.0
全国（公立）	9.4/14	66.8



分類		区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
				東大阪市	全国（公立）
学習指導要領 の内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	2	74.6	76.9
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	59.9	63.1
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	76.9	81.2
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	63.8	66.3
		B 書くこと	3	62.5	69.5
		C 読むこと	4	53.0	57.5
評価の観点		知識・技能	4	71.5	74.5
		思考・判断・表現	10	59.1	63.8
問題形式		選択式	9	60.9	64.7
		短答式	3	75.9	78.5
		記述式	2	50.6	58.8

課題がある点

●複数の資料を読み、分かったことや考えたことをまとめること

大問3三(2)	平均正答率	東大阪市	49.2%	全国	56.3%
---------	-------	------	-------	----	-------

<正答に必要な条件>

言葉の変化について納得したことを【資料1】言葉や文を取り上げ、納得した理由を【資料2】、【資料3】、【資料4】の中から選び、言葉や文を取り上げて書くことができる。

＜多かった誤答及び誤答分析＞

【資料１】～【資料４】のいずれかの中から言葉や文を取り上げて考えを書くことはできているが、【資料１】と他の資料を関連付けて納得したこととその理由を書くことができていない。

指導改善のポイント

必要な情報は目的に応じて変わるため、目的を明確にして、複数の資料を結び付けて読む学習活動を設定し、それぞれの資料がどのような関係にあるのかを考えながら読むことが重要である。

その際、それぞれの資料にある、語句や情報を丸や四角で囲んだり、線などでつながりたりするなどして、どの部分と結びつくのか視覚的に明らかにしながら読む指導を行うことが効果的である。



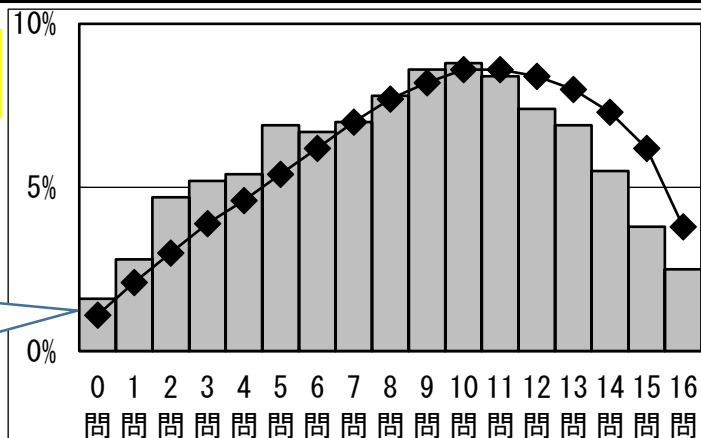
<大問3 三 (2) (抜粋)>

小学校算数

	平均正答数	平均正答率(%)
東大阪市	8.4/16	53.0
全国（公立）	9.3/16	58.0



東大阪市
全国（公立）



分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			東大阪市	全国（公立）
学習指導要領の領域	A 数と計算	8	57.8	62.3
	B 図形	4	50.3	56.2
	C 測定	2	50.7	54.8
	C 変化と関係	3	52.6	57.5
	D データの活用	5	57.4	62.6
評価の観点	知識・技能	9	60.0	65.5
	思考・判断・表現	7	43.6	48.3
問題形式	選択式	6	61.6	67.2
	短答式	6	59.1	64.0
	記述式	4	30.1	34.9

課題がある点

●基本図形に分割することができる図形の面積の求め方を、式や言葉を用いて記述すること。

大問2(4) 平均正答率 東大阪市 30.3% 全国 37.0%

<正答に必要な条件>

番号を1と選び、次のA①、A②の全てを書いている。

または、番号を2と選び、次のB①、B②の全てを書いている。

A① 三角形アイオの面積を求める式や言葉

A② 台形イウエオの面積を求める式や言葉

B① ひし形アイウオの面積を求める式や言葉

B② 三角形ウエオの面積を求める式や言葉

<多かった誤答>

番号は選択しているが、どの条件も満たさずに記述している。

<誤答分析>

例えば、図形の面積の求め方を言葉の式だけで記述しているなど、対象の図形から必要な長さを見いだして、式や言葉で表すことができていない。

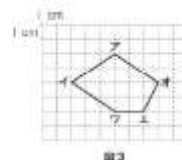
指導改善のポイント

多角形の面積を求める際、基本図形に分割したり組み合わせたりするなど、

面積の求め方を知っている既習の図形を見だし、見通しをもって面積の求め方

を考えることができるようにすることが重要である。また、図形の面積を求める際には、どの長さを用いたのかを明らかにして面積の求め方を式に表し、そのことを言葉で説明できるように指導することが大切である。

<大問2(4)(抜粋)>



お子さんたちは、三角形や四角形の面積の求め方を式や言葉で記述し、図形の五等分アイウエオを、2つの図形に分けようとしています。



和や差などで作られた図形に分けず、三角形や四角形の面積を求めることができます。

※ 必要ならば、下の公式を使って考えてもらいましょう。

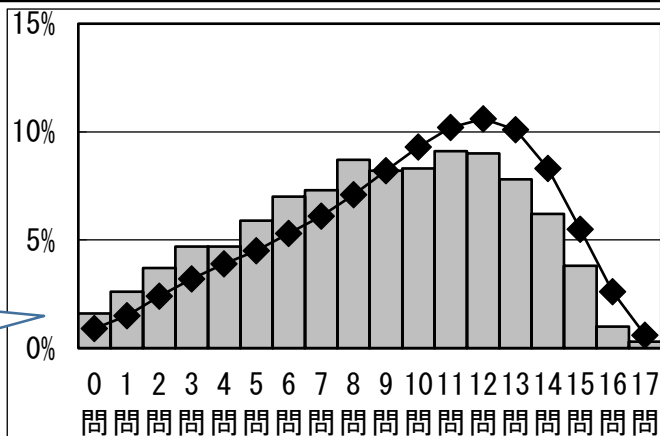
- ・ 長方形の面積＝たて×横
＝横×たて
- ・ 正方形の面積＝1辺×1辺
- ・ 平行四辺形の面積＝底辺×高さ
- ・ 三角形の面積＝底辺×高さ÷2
- ・ 台形の面積＝(上底+下底)×高さ÷2
- ・ ひし形の面積＝対角線×対角線÷2

小学校理科

	平均正答数	平均正答率(%)
東大阪市	8.7/17	51.0
全国（公立）	9.7/17	57.1



東大阪市
全国（公立）



分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			東大阪市	全国（公立）
学習指導要領の 区分・領域	「エネルギー」を柱とする領域	4	41.1	46.7
	「粒子」を柱とする領域	6	46.7	51.4
	「生命」を柱とする領域	4	44.4	52.0
	「地球」を柱とする領域	6	60.0	66.7
評価の観点	知識・技能	8	49.7	55.3
	思考・判断・表現	9	52.2	58.7
問題形式	選択式	11	49.3	54.7
	短答式	4	63.1	69.7
	記述式	2	36.3	45.2

課題がある点

●発芽の条件について、採点や共通点を基に新たな問題を見だし、表現すること

大問3（4） 平均正答率 東大阪市 19.6% 全国 29.9%

<正答に必要な条件>

次の①②のすべてを記述している。

- ① 〈条件〉から、日光または肥料について、1つ選んで記述している
- ② レタスの発芽に関し、疑問を示す趣旨で記述している

<多かった誤答>

- ①について記述しているが、②に関する記述がない。

<誤答分析>

例えば、「日光をありにする」など、「日光」「肥料」という条件に着目できているが、発芽に関して見いだした新たな問いとして表現することに課題がある。

指導改善のポイント

観察、実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目して問題を見いだす学習場面を設定することが大切である。その際、具体的な条件に着目できるように、植物の成長に関する既習の内容や生活の場面と関連付けて、問題を見いだすことができるようにすることが大切である。例えば、1年生で朝顔を育てた経験や、これまでの生活の場面の中で、植物を元気に育てるときに工夫した点を振り返り、共通点や差異点を基に、レタスのさらなる成長の具体的な条件に着目した問題を見だし、課題設定をする学習過程を重視するように指導していく。

<大問3（4）(抜粋)>

たかひろさんは、レタスの種子を発芽させようとしています。



レタスの種子を発芽させようとして、水、空気、温度の条件を下のようにしたのに、1つも発芽しなかったよ。



水、空気、温度のほかに、レタスの種子が発芽するために、必要な条件があるかもしれない。レタスの種子が発芽するために必要な条件を、上の〈条件〉の中から1つ選んで調べてみよう。

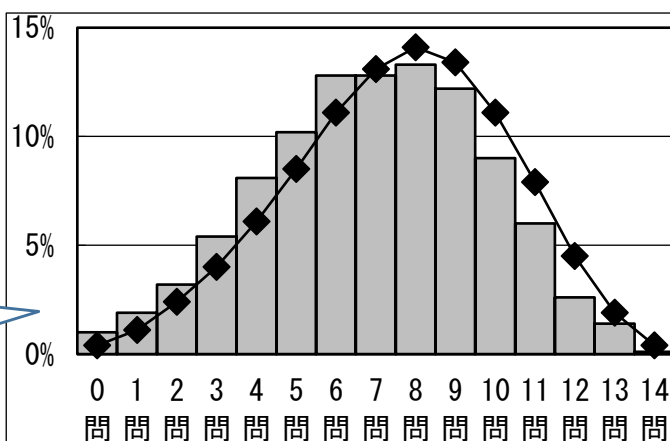
（※）でもみさんは、調べてみたいことをもとに、新たな【問題】を見つけてみた。でもみさんは、どのような【問題】を見つけたか考えられますか。その【問題】をいっしょに考えてみましょう。

中学校国語

	平均正答数	平均正答率(%)
東大阪市	7.0/14	50.0
全国（公立）	7.6/14	54.3



東大阪市
◆
全国（公立）



分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			東大阪市	全国（公立）
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	45.7	48.1
		(2) 情報の扱い方に関する事項	0	
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0	
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	48.7	53.2
		B 書くこと	47.6	52.8
		C 読むこと	57.9	62.3
評価の観点	知識・技能	2	45.7	48.1
	思考・判断・表現	12	50.6	55.3
問題形式	選択式	8	60.0	63.9
	短答式	2	68.3	73.6
	記述式	4	20.0	25.3

課題がある点

●資料や機器を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫すること

大問2四 平均正答率 東大阪市 16.4% 全国 23.2%

<正答に必要な条件>

次の条件を満たして解答している。

- ① 「工夫の仕方」のA・B・Cのいずれかを一つ選んでいる。
- ② 選んだ「工夫の仕方」について、どのように工夫するかを具体的に書いている。
- ③ 工夫することで、どのように分かりやすくなるのかを書いている。
- ④ ③について破線囲みの内容を適切に取り上げて書いている。

<多かった誤答>

条件①、②、③を満たし、条件④を満たさないで回答している。

<誤答分析>

目的と目指している到達点を意識し、スピーチ（考え）とスライド（資料）を結び付けて、スピーチの内容のどの部分をより分かりやすく伝えたいのか、意図を明確にすることに課題がある。

指導改善のポイント

スライドを示しながらスピーチをする際には、スライドに示す資料のもつ役割を考え、話す言葉を工夫できるように指導することが重要です。また、実際にスピーチを行いながら、スライドが効果的に役割を果たしているかを検討し、話し言葉やスライドがより良いものになるように改善する学習場面を設定することが大切です。

<大問2四(抜粋)>

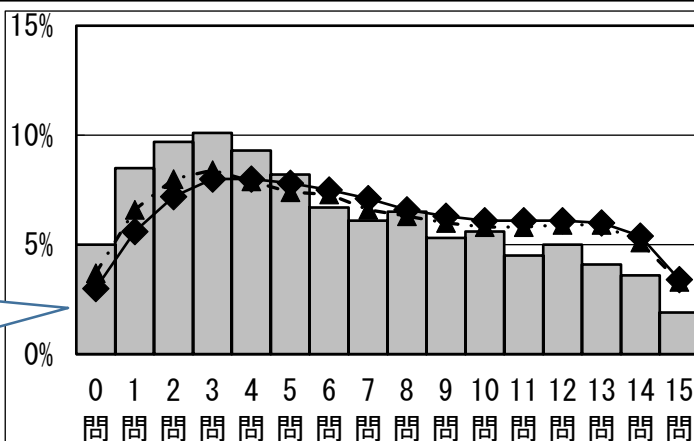


中学校数学

	平均正答数	平均正答率(%)
東大阪市	6.2/15	41.0
全国（公立）	7.2/15	48.3



東大阪市
全国（公立）



分類	区分	対象 問題数	平均正答率(%)	
			東大阪市	全国（公立）
学習指導要領の領域	A 数と計算	5	36.0	43.5
	B 図形	4	40.1	46.5
	C 関数	3	41.8	48.2
	D データの活用	3	50.2	58.6
評価の観点	知識・技能	9	47.8	54.4
	思考・判断・表現	6	31.0	39.1
問題形式	選択式	3	47.1	54.0
	短答式	7	45.2	52.0
	記述式	5	31.7	39.6

課題がある点

●式の意味を読み取り、成り立つ事柄を見いだして、数学的な表現を用いて説明すること。

大問6(2) 平均正答率 東大阪市 16.4% 全国 25.7%

<正答に必要な条件>

「○○は、◇◇である」という形で、次の(a)、(b)について記述している。

(a) ○○が、「連続する2つの3の倍数の和」である。

(b) ◇◇が「奇数」である。

<大問6(2)(抜粋)>

(2) 連続する2つの3の倍数の和は、9の倍数になるとは限らないことに気づいた二人は、連続する2つの3の倍数の和がどんな数になるかを調べることにしました。

そこで、二人は、 n を整数として、連続する2つの3の倍数を $3n$ 、 $3n+3$ と表してそれらの和を計算し、それぞれ次のように式を変形しました。

結葉さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 3(2n + 1) \end{aligned}$$

太一さんの式の変形

$$\begin{aligned} & 3n + (3n + 3) \\ &= 3n + 3n + 3 \\ &= 6n + 3 \\ &= 2(3n + 1) + 1 \end{aligned}$$

結葉さんの式の変形の $3(2n + 1)$ から、「連続する2つの3の倍数の和は、3の倍数である」とことがわかります。

太一さんの式の変形の $2(3n + 1) + 1$ から、連続する2つの3の倍数の和は、どんな数であるといえますか。「奇数」という形で書きなさい。

<多かった誤答>

$2(3n+1)+1$ から読み取れないが、連続する二つの3の倍数について成り立つ事柄を記述している。または、(a)の記述が不十分である。

<誤答分析>

文字を用いた式から読み取れる事柄を考え、数学的な表現を用いて説明することに課題があると考えられる。

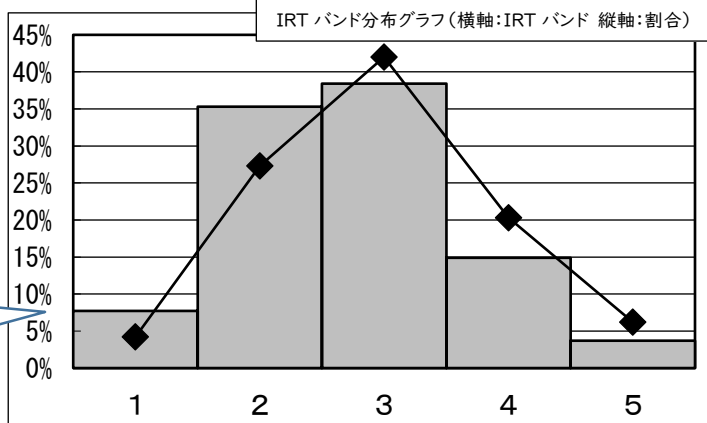
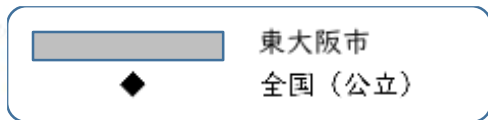
指導改善のポイント

数学の事象から問題を見だし、文字を用いた式の意味を読み取ったり、事柄の特徴を文字式や言葉を用いて数学的に説明したりする学習活動を充実させることが大切である。

本問なら、「連続する2つの3の倍数」から「連続する3つの3の倍数」に変えて、成り立つ性質を予想したり、その予想が成り立つことを説明したりすることが考えられる。また、「連続する○つの3の倍数の和」「連続する2つの□の倍数の和」の○や□に当てはまる数を変えた場合について考えるなど、統一的・発展的に考察できるように指導することが大切である。

中学校理科

	平均正答数	平均正答率(%)
東大阪市	2.6/6	平均正答率なし
全国（公立）	2.9/6	



課題がある点

●身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定すること

大問Ⅰ（２） 平均正答率 東大阪市 37.3% 全国 46.2%

<正答に必要な条件>

次の(a)(b)を満たしている

- (a) 【Aさんの疑問】を解決しようとする内容になっている
- (b) 水道水と精製水の両方の性質に着目している

<多かった誤答>

(b)を満たしているが(a)を満たしていない。

<誤答分析>

水道水と精製水の成分や特徴について、どのような科学的な探究として解決したいのか、問いとして設定することができていない。

<大問Ⅰ（１）(抜粋)>



●探究から生じた新たな疑問や身近な生活との関連などに着目した振り返りを表現すること

大問Ⅰ（６） 平均正答率 東大阪市 70.5% 全国 79.4%

<正答に必要な条件>

次の(a)と(b)～(e)のいずれかを満たしている

- (a) 水道水と精製水に対して振り返る表現となっている
- (b) Bさんの視点を参考に、疑問に感じたことや、調べてみたいことを記述している。
- (c) Cさんの視点を参考に、初めの考えから考えが変化したことを記述している。
- (d) Dさんの視点を参考に、身近な生活とのつながりについて感じたことを記述している。
- (e) Bさん、Cさん、Dさん以外の視点で記述している。

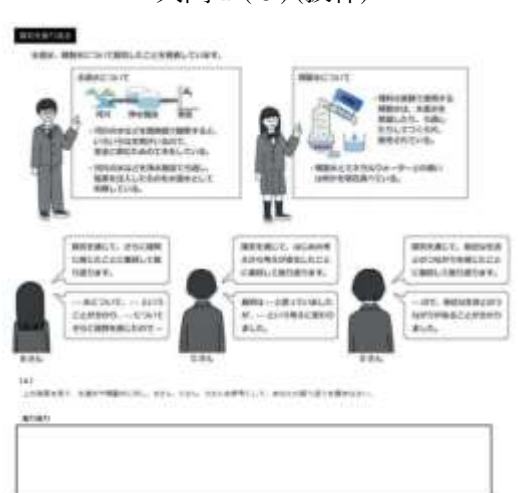
<多かった誤答>

無回答

<誤答分析>

探究の過程を通して、何を振り返ればいいのか分からない。

<大問Ⅰ（６）(抜粋)>

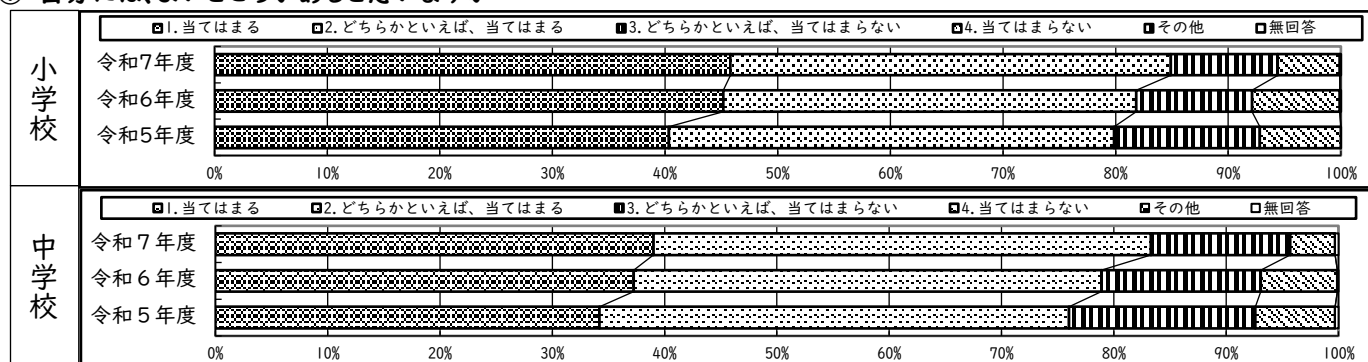


指導改善のポイント

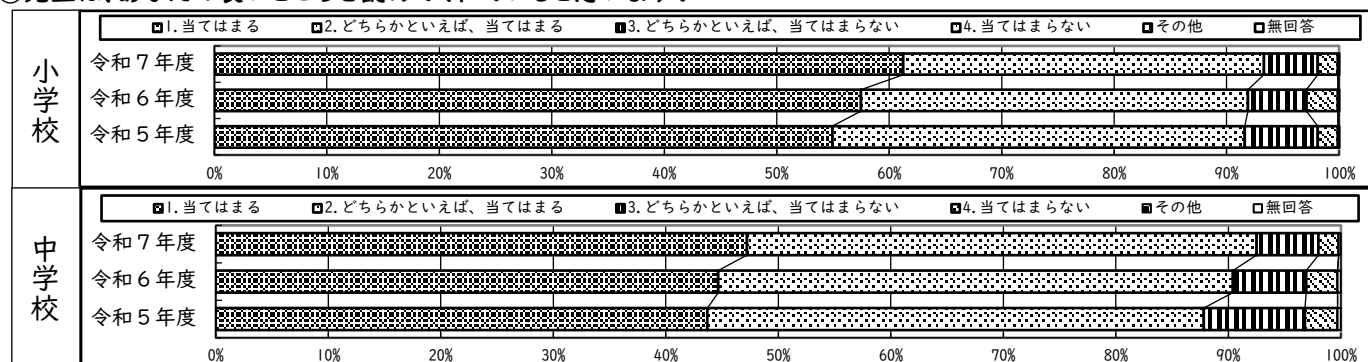
理科では、科学的に探究する活動の見通しをもたせた上で、生徒が課題を設定して、探究したことをまとめ、振り返る学習過程を重視することが大切である。課題を設定するには、身の回りの事象から生じた疑問や問題が解決可能かどうかに着目し、科学的な探究の課題を自分の言葉で表現する学習場面を設定する。その際、生徒が問題を見いだしやすい自然の事象・現象を提示することが重要である。また、授業の終わりに探究の過程を振り返り、新たな疑問をタブレット端末等に記録する学習場面を設定する。その際、何を振り返ればいいのか分からない生徒については、自己の変容や学び方を振り返る文例を示して記述させるのも良い。

児童生徒質問調査 3年間の経年変化 <自己有用感に関すること>

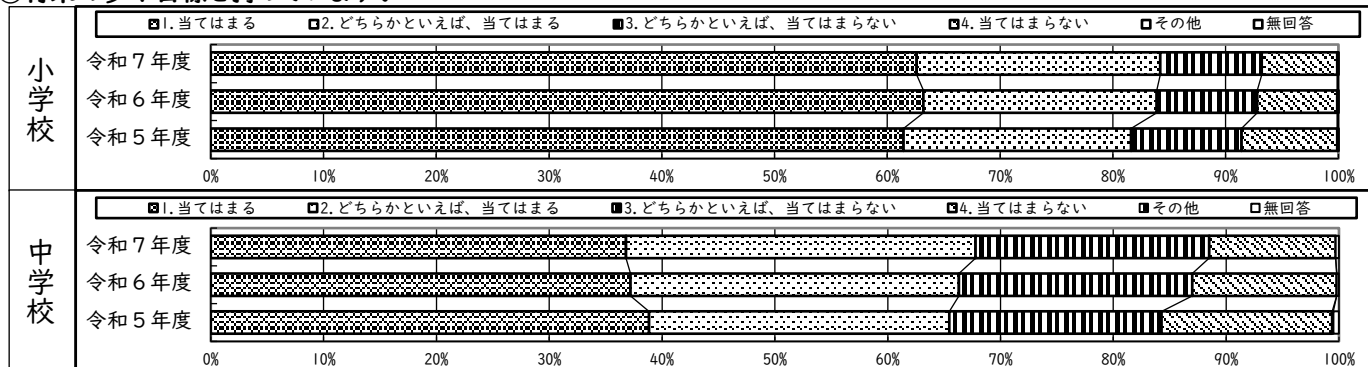
① 自分には、よいところがあると思いますか



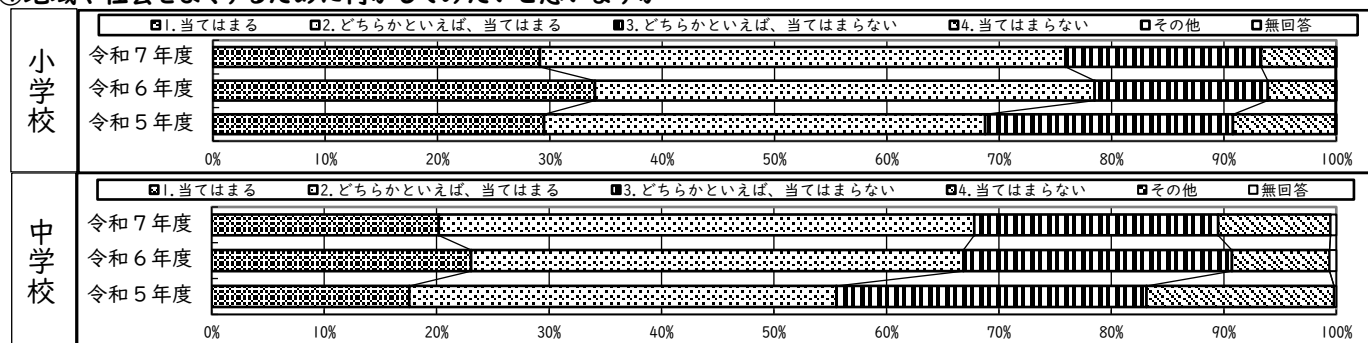
② 先生は、あなたの良いところを認めてくれていると思いますか



③ 将来の夢や目標を持っていますか



④ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

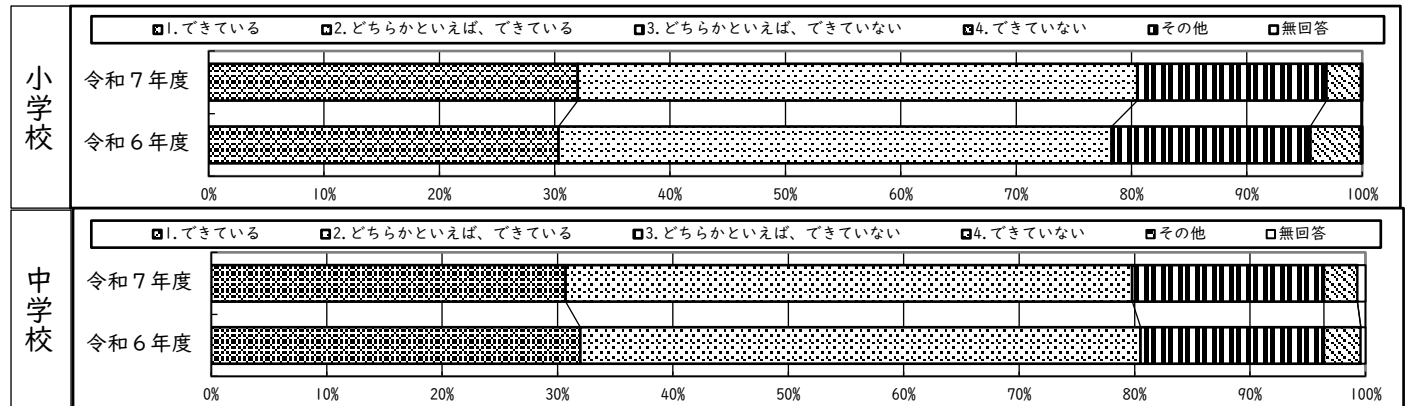


①②③については、小・中学校ともに肯定的回答率（当てはまる・どちらかといえば、当てはまる）の合計が増加している。継続的な子どもたちの自信の高まり、それによって先生との信頼関係も強くなっていることがうかがえる。また子どもたちが自己の将来に対してビジョンや目標を明確に持っていることがうかがえる。④については、肯定的回答率の合計が小学校において微減したものの、中学校においては上昇しており、依然として子どもたちの社会貢献に対する意識の高まりがうかがえる。

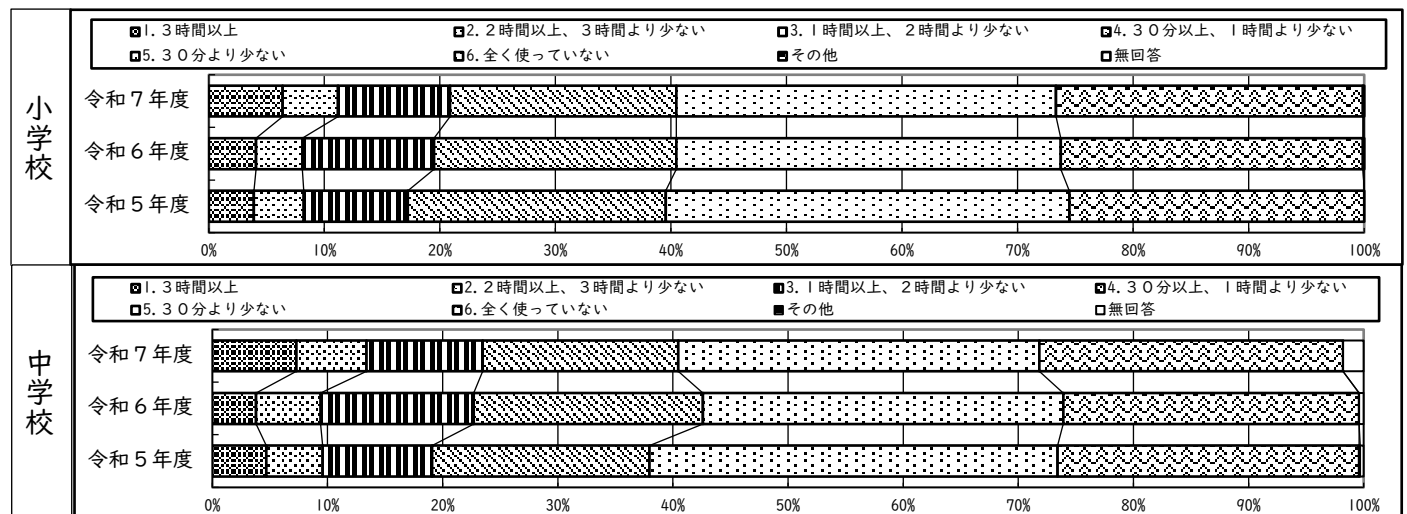
今後も、子どもたちが自身の個性や良さを認められる取組みを進めるとともに、学校や教師との信頼関係を高めていくことが求められる。また、子どもたちが具体的な目標や計画を持ち、それを追及する力を育むとともに、社会の一員としての自覚や、地域貢献への意識の高まりをめざした取組みを進めていく。

児童生徒質問調査経年変化＜学び方や家庭学習習慣に関すること＞

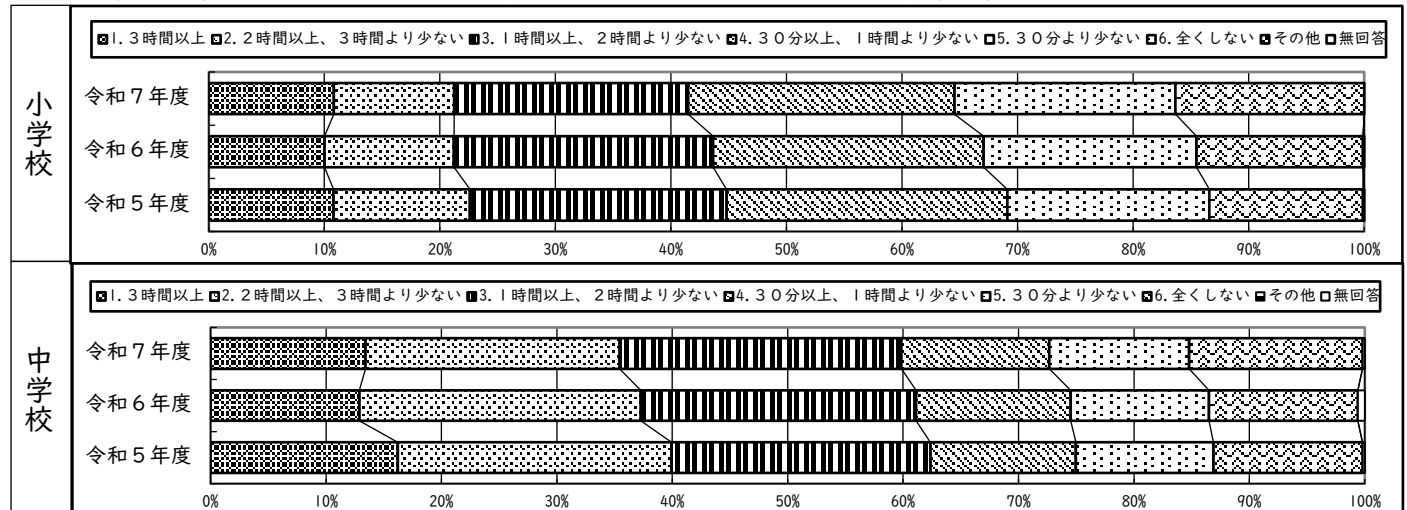
①分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



②学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）



③学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



①については、肯定的回答率（できている・どちらかといえば、できている）が小学校では増加、中は微減しているものの全国平均（中：75.5%）を上回っている。②については、勉強のためのICT端末（授業外）活用が「1時間以上」と回答した割合が増加しており、全国（小：19.6%、中：13.7%）と比較して高い。③については、小中学校ともに、家庭学習を「全くしない」割合が増加傾向にある。

今後も、すべての教育活動においてICTも活用し、「探究のプロセス」の質的向上を図るとともに、家庭学習と学校での学びを円滑に結びつけ、探究心（知的好奇心やワクワク感）を持ち続けられるよう「主体的・対話的で深い学び」の一層の実現をめざす必要がある。

令和7年度全国学力・学習状況調査概要

調査目的 教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国の状況との関係において、児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組みを通じて教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査日 令和7年4月17日（木）※中学校理科 CBT 調査・4月14日（月）～17日（木）

調査対象 小学校6年生/義務教育学校6年生、中学校3年生/義務教育学校9年生

調査内容 小学校：国語・算数・理科
中学校：国語・数学・理科【CBT 調査】
小中共通：児童生徒質問調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査）
学校質問調査
（指導方法に関する取組みや人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査）

調査問題
➤ 学習指導要領で育成をめざす、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題された。
➤ 各大問において「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善のメッセージが発信された。

今年度調査の特徴
➤ 中学校理科でCBT方式が初導入された。動画等の多様な出題形式への対応や、異なる問題でも公平に比較できるIRT方式によって分析の柔軟さが向上した。

調査結果の取扱いに関する配慮事項
調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにするなど、教育上の効果や影響等に十分配慮すること。

関連サイト

- 令和7年度全国学力・学習状況調査の調査問題・正答例・解説資料について
<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/zenkokugakuryoku.html>
- 東大阪市学校教育基本目標・重点目標
https://www.city.higashiosaka.lg.jp/kosodate/cmsfiles/contents/0000005/5027/R7kihonjyuu_ten.pdf
- 東大阪市の学校教育
https://www.city.higashiosaka.lg.jp/kosodate/cmsfiles/contents/000011/11826/R7_gakkoukyouiku.pdf
- 東大阪市教育行政に関する大綱（改訂版）
<https://www.city.higashiosaka.lg.jp/cmsfiles/contents/0000016/16422/taikoukaitei2.pdf>

